

標準学力検査がありました

今日は全学年『標準学力検査』の日でした。テストが5時間続くため、校内は静まり返っています。鉛筆の音や紙をめくる音だけが時折しています。

4月最初のテストは、これまでの学習の到達度をはかると共に、これから1年間の伸びをはかるための基準となります。子ども達がこれから1年間、どれだけ学習に励むか、楽しみです。

なお、今年度から1年生も英語の試験が始まりました。問題を見てみると、リスニングあり、英作文ありで、けっこう難度の高い問題でした。リスニングは約30分もありました。それもかなり難しい問題がありました。私たちの時代は1年生の英語はabcから始まり、そして当時の定番であった **this is a pen** を習いました。私が中学1年生だった時から45年が経ち、英語教育の大きな変化を感じます。これからの国際社会を生きていくために、国をあげて英語教育に取り組んでいますが、小学生も中学生も英語の授業が難しくなっており、ついていくのが大変だと感じます。日頃から『英語に親しむ』という基本を大事にしなければいけないと感じました。

子ども達には新たな時代を生きていくために必要な学力をつけさせていきたいと思いません。

